



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomonono-mori.net> mailtp:info@kodomonono-mori.net

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2025年2月号)

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



今年も「全国集会&研修会」が2日間に渡って開催されました。

今年の会場は福井市。開催当日は、観測史上でもまれな大雪に見舞われ交通機関への影響が懸念されましたが、皆さん元気にお集まりくださいました。

今年も有意義で充実な議論や学びがありました。

今月号と来月号の2回に分けてレポートをお送りします。詳細は、ホームページをご覧ください。

(写真：集会と研修を終えて、参加者有志の記念撮影)

(目次)

1. J P子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」活動レポート（1日目）
2. 「保育防災アクションマイスター認定講座」2025年度（第5期生）受講者募集案内
3. リレーエッセイ（2025年2月号）

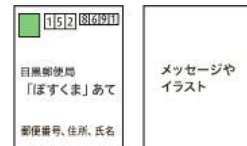
日本郵政グループからのお知らせ

日本郵政グループは「J P子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】



お手紙をくれたみんなに
ぼすくまからお返事が届くよ!



ぼすくまの動画はこちら



YouTube
ぼすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぼすくまと仲間たち
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぼすくまと仲間たちは郵便局のキャラクターです。ぼすくまは、くまのぬいぐるみの郵便屋さんです。仲間たちもみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局「ぼすくま」あて

※ぼすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。

1. J P 子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」活動レポート（1日目）

J P 子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」が、2025年2月24日(月)、25日(火)に福井市で開催されました。開催日は、北陸地方が歴史的な大雪となり、参加者の交通に影響が出るのではと懸念されましたが、幸い、全国から約50名の参加者にお集まりいただき、2日間に渡り濃密な議論と学びの場となりました。ご参加いただいた方々に、あらためて御礼申し上げます。以下、今月号と来月号の2回に渡ってレポートをお届けします。

●「全国集会&研修会」開催概要

- ・開催日：2025年2月24日(月・祝)、25日(火) ・会場：「福井市地域交流プラザ」601 研修室 B・C
- ・主催：子森ネット ・共催：大野幼稚園 国際校庭園庭連合日本支部 ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・後援：こども環境学会 ・参加者数：1日目（関係者含む 50人） 2日目（関係者含む 40人）

【1日目】～テーマを深掘りする「全国集会」～



[開会式]

開会式には、今回の共催園である大野幼稚園が所在する福井県大野市の石山市長様はじめ、久保教育長、大野郵便局の松田局長にご出席いただき、ごあいさついただきました。

[基調講演]

1日目の「全国集会」のテーマは、『園庭と遊び』としました。基調講演には、愛媛県東温市で緑豊かな園庭を持つ保育園を手づくりした「むぎの穂保育園」出原園長先生にお願いしました。緑豊かな園庭環境こそが、子ども本来の「非認知能力（生きる力）」を育むことを、実践をまじえて保育者の立場からお話いただきました。



[事例発表]

昨年に続き、子どもの遊びの専門家である「日本冒険遊び場づくり協会」の関戸代表から実践事例について発表いただきました。

[園庭緑化運動]2025年モデル園活動発表

参加園の園庭緑化をサポートするモデル園3園に活動発表をお願いしました。



駒形こどもの杜こども園（岩手県）



崇徳保育園（滋賀県）



ちらん中央こども園（鹿児島県）

[園庭緑化運動2024年度活動総括]

モデル園の活動発表を踏まえ、園庭緑化運動のプロジェクトコーディネートををお願いしている田園調布学園大学大学院 准教授 国際校庭園庭連合日本支部 代表 仙田 考先生から2024年度の活動総括をお願いします。



[パネルディスカッション]

1日目最後のプログラムとして、会場にも参加してテーマを深堀りするパネルディスカッションを開催しました。パネラーとして、出原、関戸先生に加えて、三和新琴似保育園の菊地園長と大野幼稚園の藤園長先生にご参加いただき、仙田先生のコーディネートでの議論が交わされました。

2. 「保育防災アクションマイスター認定講座」2025年度（第5期生）受講者募集案内

J P 子どもの森づくり運動では、災害列島化したわが国の現状を踏まえ、「本当に子どもたちの命を救う」ために、通常の防災の仕組みや方法が通用しない保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ保育防災リーダー「保育防災アクションマイスター」の養成を目指す、「保育防災アクションマイスター認定講座」に取り組んでいます。2月25日に開催された「全国研修会2025」での活動発表を経て、第4期生のアクションマイスターが巣立ったことを踏まえ、2025年度の第5期生の募集を開始します。下記概要をご確認の上、是非、ご参加ください。

1. 運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
保育防災アクションマイスター認定委員会
2. 運営協力：(株)タフ・ジャパン
3. 特別協賛：日本郵政グループ
4. 実施期間：2025年4月～2026年3月
5. 募集締切：2025年3月末
6. 募集人数：各園2名までを資格認定対象者として、上限12園（24名）を募集。（先着順）
7. 講座内容：研修講座は、原則、年6回、ZOOMによるリモートでのワークショップ形式で実施します。
8. 講師：(株)タフ・ジャパン代表取締役 消防庁防災アドバイザー

災害に強い人づくり・まちづくりの実現を目指し、全国各地に年間平均約200回出張。
J P 子どもの森づくり運動が取り組む「保育防災」の講師・アドバイザーとして、保育施設に特化した防災・減災の仕組みづくりに取り組んでいる。（*写真：鎌田氏）



9. 受講料：3万円（年間 / 園）

*各園2名までを資格認定対象者とします。*リモート講座には何人でも参加できます。

※講座内容の詳細、お申込みについては、ホームページをご参照下さい。

3. リレーエッセイ (2025年2月号)

広島県「さざなみの森こども園」の高田 憲治先生による2回目のリレーエッセイです。パワーワードとしての「非認知能力」。1月号につづき、さらに刺激的な内容です。是非、お読みいただき、ご意見をお寄せください。

パワーワード

さざなみの森こども園 副園長 高田 憲治



力を持った存在が、抗うことができない個人を身勝手に取り扱い、傷つけ、それを財力や組織の力で覆い隠そうとする、そんな事件報道が1月、繰り返されていました。そこで頻出していた「コンプライアンス」「ガバナンス」。不祥事の度に飛び交うこれらの言葉は、使用することで、一定の理解があり、さらに既に実践できているかのような印象を与えます。これまで大切にされてきた概念、当たり前のことであるにもかかわらず、目新しい表現を纏うことで注目を集め、パワーワードとして世を賑わします。

保育界隈でもパワーワードがあります。「遊び」「主体性」「環境」、近年では「協同的な学び」「カリキュラムマネジメント」「ドキュメンテーション」「ラーニングストーリー」「コ・エージェンシー」そして「非認知能力」も注目されて久しい言葉。「遊びを通して非認知能力は育まれる」そう言われると、何の異論もありません。しかし、「非認知能力を育む教材」や「非認知能力養成メソッド」等の表現が飛び交い、「商品化」されていくとなると眉唾。そもそも経済学用語に端を発した言葉ですから、しかたがないといえればそれまで。「遊び」と同様、便利な言葉に踊らされないで、目の前の子どもの、「世界との対話」を大切にしたいと願うこの頃です。



幼稚園利用の子で2年、保育園利用で0歳からの子は5年目を迎えるこども園の年中組。そこに60歳児として共に暮らしを重ねていると、「コンプライアンス」「ガバナンス」さらには「ステークホルダー」「センシティブ」も、日々取り扱いながら過ごしています。園が安心できる場所となり、自己解放して他者と関わり合うようになった年中児は、何をして遊ぶかより、誰とどう「関係性」を結ぶかに情熱を捧げ、自分の弱さに向き合い、乗り越えようとしています。これも、「世界との対話」の大切な一面。ここから認知し難い、他者と共に生きる営みが興っているのです。

※高田先生プロフィール

高田 憲治 1964年生まれ

前広島女学院ゲース幼稚園・園長

認定こども園さざなみの森 副園長

広島文化学園大学 非常勤講師

日本保育学会会員

日本ベスタロッチャー・フレーベル会員

子育て応援隊 大丸ロケッツ (男性保育者ロックバンド) リーダー

